

# 競技注意事項

名古屋市中学校総合体育大会

1 本大会は2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項申し合わせ事項によって実施する。

## 2 ナンバーカードについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳、走幅跳は胸または背につけるだけでよい。
- (2) トラック競技は招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方にそのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて

- (1) レクリエーション広場が使用できる。(投擲物の使用はできない)
- (2) パロマ瑞穂アリーナ第1競技場のフロアが使用できる。※室内シューズを着用すること。
- (3) 競技場内のバックストレート等を使用できる。

ただし、競技中のレースに支障のないよう、安全に十分留意して行うこと。

### 【ハードル優先時間】

28日(土) 10:30~12:35 (5、6レーン男子、7、8レーン女子)

29日(日) 9:50~10:50 (5、6レーン男子、7、8レーン女子)

※200mの妨げとならないように実施

### 【リレー優先時間】

28日(土) 13:30~15:00 ※800m、1500mの妨げとならないように実施

29日(日) 13:40~15:30 ※100m、1500mの妨げとならないように実施

※ 投てき練習は禁止する。

- (4) リレーのウォーミングアップにおいて靴やバトンをマークとして使用しない。

## 4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (3) 欠場者のレーンは100m~400mではあける。800m以上については競技役員の指示による。
- (4) 計時方法は、写真判定(1/100秒)とする。
- (5) 次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大(1/1000秒以上の差が認められた場合)して進出者を定める。それでも決まらないときは、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。(競技規則第167条を適用)
- (6) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (7) この大会は、不正スタートをした競技者は1回目で失格する。  
※ スターターの合図は英語とする。(「オン・ユア・マークス」、「セット」)
- (8) 走幅跳、走高跳においては、2ピットで行う。走幅跳のトップ8は、1ピットで行う。
- (9) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (10) オープンジャベリックスローについては、試技を3回とする。
- (11) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

## 5 対校得点について

- (1) 得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
- (2) ただし、同順位の場合は、得点を均等に分け与える。オープン種目は得点の対象にしない。

## 6 招集について

- (1) 招集所は、全種目第三コーナー付近の北側倉庫一か所に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。  
なお、組数の多い種目に関しては、前後半に分けて招集を行う。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全種目	40分前	20分前
フィールド競技	全種目	50分前	30分前

- (4) リレーのオーダー用紙は、1組の招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。オーダー用紙は、プログラムに添付してあるもの、もしくは、招集所に準備してあるものを使用する。

## 7 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行うこと。
- (2) 選手は北側または南側の出入り口より入場することができる。
- (3) 選手は、正面ゲートからの入退場を禁止する。

## 8 トラック競技の決勝について

- (1) 予選の上位8人でA決勝、上位9～16人でB決勝（県大会出場決定レース）を行う。  
（A決勝進出者が決勝を棄権しても、B決勝からA決勝への繰り上げは行わない。）
- (2) 男子2年1500m、男子3年1500m、女子1500mの決勝においては、決勝進出16人で行う。
- (3) 1年女子800m、1年男子1500m、3000mはタイムレース決勝で行う。

## 9 愛知県中学校総合体育大会の出場について

- (1) 本大会で12位までの選手・リレーチーム（A、B決勝のある種目はA決勝で8位以内の者とB決勝で上位4名に入った、計12名の選手・リレーチーム）が出場することができる。
- (2) 上位8名に入り、A決勝に出場したが、失格・棄権した場合は、県大会へ出場することはできない。A決勝で8名に満たない場合は、B決勝5位以下を繰り上げる。なお、B決勝4・5位が同記録（1/1000秒まで同じ）の場合は抽選とする。繰り上げなどの場合も同様とする。
- (3) (1)(2)の手順をとってもなお、12名、12チームが決定できない場合は、空いている枠はそのままとする。（予選16位以下からの選出は行わない。タイムレース決勝での実施種目やフィールド種目においても同様とする。）
- (4) タイムレース決勝の種目については、上位12名が出場することができる。
- (5) 愛知県中学校総合体育大会の申込み方法については、P6を熟読すること。

## 10 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m40	1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70以上は3cm刻み
女子走高跳	1m20	1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45以上は3cm刻み
男子棒高跳	フリー		2m20	2m40	2m60	2m80	3m00以上は10cm刻み	
女子棒高跳	フリー		1m80	2m00	2m20	2m40	2m60以上は10cm刻み	

※上記の高さ、競技運営は状況に応じて変更することもある。

※女子のOP棒高跳びについては、状況により高さを決定する。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

## 1.1 競技用靴について

### (1) スパイクピンの長さ

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

### (2) 靴底の厚さ

2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則により、本大会もこれに準ずる。もし、使用した場合、失格とする。

トラック 種目：～800m未満の種目は20mm。800m以上の種目は25mm以内とする。  
フィールド種目：走幅跳、走高跳、棒高跳、砲丸投は20mm以内とする。

## 1.2 表彰について

(1) 各種目の1～12位、男女総合の1～6位には賞状を授与する。

(2) 各種目の1～8位は、本部前で表彰を行う。表彰の待機室は、研修棟1階のスタジオとする。

## 1.3 開会式・閉会式について

(1) 開会式と閉会式は、本年度行わない。

## 1.4 選手控え場所について（パロマ瑞穂アリーナ（体育館）第1競技場）

(1) パロマ瑞穂アリーナの第1競技場が利用可能。スタンド席、フロアを利用可能。

### 【スタンド席】

- ① 場所の指定は設けない。マナー良く利用すること。
- ② 飲食は可能だが、ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

### 【フロア】

- ① 室内専用シューズを着用であれば軽いジョギング、ストレッチ等で利用可能。
- ② フロアでの飲食は禁止とする。
- ③ フロアへは、砂、雨水の持ち込みや、フロアを傷付けるような行為は禁止とする。
- ④ 利用場所は、清掃して退室すること。

## 1.5 入場規制について

(1) 本大会は、選手、競技役員その他、選手1名につき1名の保護者、学校長の認めたカメラマンの入場を認める。※体調チェックシート、来場者体調記録表が必要。

### 【保護者の入場】来場者体調記録表

- ① 正面玄関横の外階段よりスタンドへ入場すること。
- ② 保護者の入場は、選手の競技場開始30分前を目安に来場すること。
- ③ 競技場内への立ち入りは禁止とする。
- ④ 収容スペースの関係上、入場できない場合がある。
- ⑤ 体調記録表を提出された保護者は、リストバンドを着用すること。

### 【カメラマン】体調チェックシート

- ① 正面玄関より入場する。
- ② ビブス着用のもと撮影を許可する。
- ③ 入場希望者は、事前に担当者へ連絡すること。（前津中学校：262-7676 東哲久 まで）

### 【大会に出場しない部員】

- ① 昨年度に引き続き、入場不可能。
- ② 密を回避するため、レースを終えた選手も随時解散とする。

## 16 その他

- (1) 感染症防止対策を遵守すること。
- (2) 参加校の教員は、必ず審判を行うこと。
- (3) オープン種目については、記録は公認されるが県大会への出場の対象外とする。
- (4) 低学年のリレーオーダーは、2年・1年・1年・2年とし、これ以外のオーダーは認めない。
- (5) 低学年リレー、共通リレーを兼ねることは認めない。  
(例：予選は低学年リレーに出場し、決勝は共通リレーに出場するなどは認めない。)
- (6) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

## ★ スタートにおける注意を受ける例

- 1) 「オン・ユア・マークス」の時
  - ①なかなか、位置についての姿勢を取らない。
  - ②身体を止めない。
  - ③手を上げてスタートを中断させる。
  - ④大きな声を出して、他の競技者を威圧したような場合。
  
- 2) 「セット」の時
  - ①タイミングを遅らせて腰を上げる。
  - ②静止しない。
  - ③静止時に
    - a) 身体の一部がぴくっと動く。
    - b) 身体が沈み込む。
    - c) 身体が前に動き出す。
    - d) 両手が震える。
    - e) 足がスターティングブロックに固定できずズレ落ちる。